

「社長」や「役員」になりすました詐欺メールにご注意ください！

法人の社長や役員などになりすまし、メールやメッセージアプリなどを使い、SNSグループの作成を求めた上で、金銭の振り込みや情報提供を要求する詐欺の手口です。

■詐欺メールによく使われる手口■

- ・ 経営者や上司になりすまし、「急ぎで対応してほしい」と振り込みや情報提供を求める（財務・経理担当者といった金銭管理を行う部門が狙われる傾向がある）
- ・ 本物に似たメールアドレスを悪用して正規の連絡に見せかける
- ・ LINEグループの作成など、外部サービスへの誘導を行う



◎「至急」「会社に戻ったら説明する」は詐欺メールでよく使われる言い回しです。

◎会社では通常使用しない外部SNSへの誘導は要注意です

だまされないためのポイント！

- ・ 差出人のメールアドレスや連絡先を必ず確認する
- ・ 内容に不自然な点があれば、内部で共有・相談し、正当な相手（自社の社長等）に直接確認する
- ・ 個人情報を送らない